

4 受験上の配慮事項

これ以降のページをよく読み、受験上の配慮事項をよく確認し、申請に必要な書類を準備してください。

4-1 試験時間延長における試験時間割

受験上の配慮（試験時間延長）における試験時間割は、次の表のとおりです。

		1.3 倍の試験時間	1.5 倍の試験時間	一般の試験時間	
1 日 目	地理歴史、公民 (注1)	2科目受験 9:30～12:20 (170分) 1科目受験 11:00～12:20 (80分)	2科目受験 9:30～12:40 (190分) 1科目受験 11:10～12:40 (90分)	2科目受験 9:30～11:40 (130分) 1科目受験 10:40～11:40 (60分)	
	国語	13:20～15:05 (105分)	13:25～15:25 (120分)	13:00～14:20 (80分)	
	外国語	筆記	15:35～17:20 (105分)	15:55～17:55 (120分)	15:10～16:30 (80分)
		リスニング (注2)	17:45～18:55 (70分) (解答時間 40分)	18:20～19:35 (75分) (解答時間 45分)	17:10～18:10 (60分) (解答時間 30分)
2 日 目	理科①	9:30～10:50 (80分)	9:30～11:00 (90分)	9:30～10:30 (60分)	
	数学①	11:20～12:40 (80分)	11:30～13:00 (90分)	11:20～12:20 (60分)	
	数学②	13:40～15:00 (80分)	13:45～15:15 (90分)	13:40～14:40 (60分)	
	理科② (注1)	2科目受験 15:30～18:20 (170分) 1科目受験 17:00～18:20 (80分)	2科目受験 15:45～18:55 (190分) 1科目受験 17:25～18:55 (90分)	2科目受験 15:30～17:40 (130分) 1科目受験 16:40～17:40 (60分)	

(備考)

1 (注1)の「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間に2科目を受験する場合は、解答順に第1解答科目と第2解答科目に区分し解答を行います。

1.3倍の試験時間延長が許可された場合は、試験時間170分の中で、まず、第1解答科目を80分間で解答した後、10分間で答案回収と新しい解答用紙の配付を行い、次の80分間で第2解答科目を解答します。

1.5倍の試験時間延長が許可された場合は、試験時間190分の中で、まず、第1解答科目を90分間で解答した後、10分間で答案回収と新しい解答用紙の配付を行い、次の90分間で第2解答科目を解答します。

2 (注2)のリスニングの一般の試験時間は、解答時間が30分で全体の試験時間は60分です。

試験時間延長は、解答時間の30分を延長しますので、1.3倍の延長の場合は解答時間が40分で全体の試験時間は70分です。1.5倍の延長の場合は解答時間が45分で全体の試験時間は75分です。